

「境界ブロック目地部等 防草技術」展示・実証実験

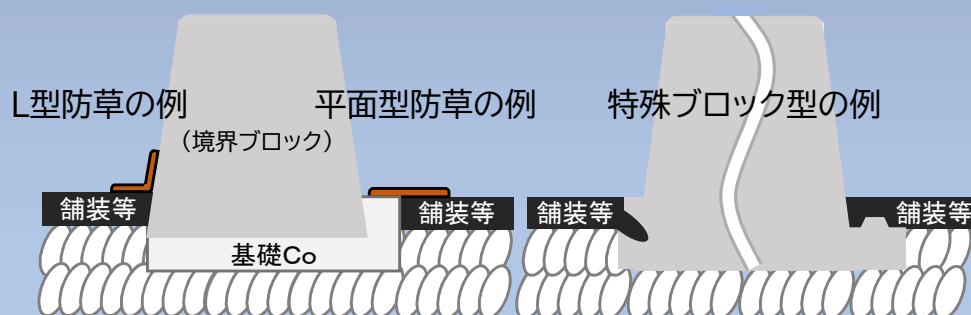
～インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム 連携企画～

歩車道境界や中央分離帯の境界ブロック目地に生える雑草は、交通視程障害や道路景観不良に加え、除草作業では通行車両近接による危険を伴うため、その効率的な対策が求められています。

東北技術事務所では NETIS登録(R5.4時点)の「境界ブロック目地部等 防草技術」を対象に 各開発企業等 協力の下、継続的な展示および効果検証を実施しています。

この実証実験は「インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム」との共催により、地方自治体等の公共施設管理者が抱えるニーズ(課題や悩み)に対して、各企業等が所有するシーズとのマッチングが期待されます。 (展示施工日:令和5年10月25日)

【展示施工イメージ図】

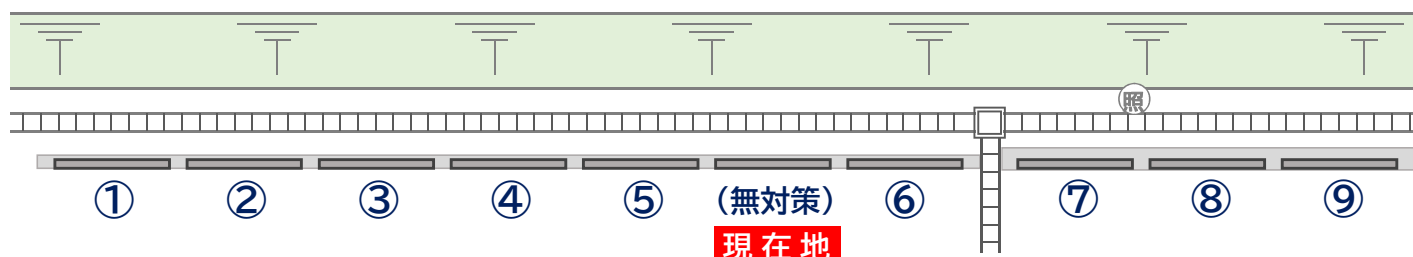


【境界ブロック目地部等防草技術の効果(例)】

【展示・実証実験対象技術】

タイプ	番号	防草技術名	NETIS番号	企業等名
常温接着型	①	目地パール工法	CB-120027	小泉製麻(株)
As溶着型	②	目地バリシートシリーズ	HR-140006 他	(株)白崎コーポレーション
	③	目地プロテクトシール	KK-070010	谷口産業(株)
樹脂塗布型	④	ウィードコート工法	CB-080003	ウィードコート工法協会
	⑤	ポーソーシールシリーズ	KT-170052 他	シンレキ工業(株)
亜鉛イオン型	⑥	草ゼロプレート	CG-220017	早川ゴム(株)
特殊ブロック型	⑦	防草ブロック	CB-050041	全国防草ブロック工業会
	⑧	雑草防止工法	KT-160069	日本雑草防止工法研究会
	⑨	BS(BouSou)ブロック	CB-220010	松岡コンクリート工業(株)

〔展示配置図〕



「インフラメンテナンス国民会議東北フォーラム」Webサイト

地方自治体等の公共施設管理者が抱えるニーズ(課題や悩み)に対して各企業等が有するシーズとのマッチングや各種実証実験を紹介しています。

